

丹沢：玄倉川中流域の沢あるき

- ◆日程 2017年8月27日(日)
- ◆メンバー L：佐藤 s、前田、小山田、池本、太田
- ◆天候 曇り時々 晴れ

バスを下車してから、熊出没注意の看板が所々ある林道を歩いて行きました。青崩隧道の手前の脇道を歩いて行き、まもなく玄倉川に入渓。青味のかかった透きとおった川の水はほどよく冷たく、歩いても水が濁らないことに驚きました。さらに進んでいくと、段々と岩が大きくなっていきます。岩は白く綺麗なのですが表面がツルツルしていて滑りやすく、岩を越えるために佐藤リーダーや前田さんにお助けロープを出してもらったり、小山田さんに手を引っ張ってもらったりとサポートをして頂いて、怖い思いをすることもなく進むことができました。岩の白さと周囲の木々の緑と、水の青さの色の景観は素晴らしかったです。

昼食はモチコシ大滝（2段60m）が見えるスペースで済ませそこにザックを置いて、細いゴルジュを通り、滝の近くまで見学にいきました。見学後は再び玄倉川に戻り、しばらくすると大きな釜に出ました。ルートは左の巨岩を越えるか、釜を泳ぐかの選択でしたが、リーダーが先に岩に登りロープを下げてください、そのロープを頼りに釜を泳いでいきました。身軽な池本さんは岩を登って行きました。釜の水は濃い青色で深く、足がつかないほどでしたが、ザックが浮きになるので沈む怖さもなく、泳ぐのが楽しかったです。



その後ダムの手前で林道に戻り、ユーシン溪谷を見に行きましたが、今回は水量が少なくユーシブルーはお目にかかれませんでした。

復路は一筋の光も入らない青崩隧道を通り、その後、バス停にちょうど到着したバスに滑り込みで乗車。途中の山北駅で下車し、駅前の町営さくらの湯に入りました。山北駅からは電車で松田駅に行き、新松田駅前で美味しい一杯を飲みました。今回、私は初めての沢歩きでした。みなさんのサポートのお陰で楽しい思い出になりましたが、岩を登る際に必要な筋力など、今後鍛えなければと痛感しました。色々な初めてのことが経験できてとても楽しかったです。

CT:玄倉バス停 9:20—青崩隧道 10:40—玄倉川入渓 11:30—モチコシ大滝 12:10—長い淵 13:30—玄倉ダム 14:20 (林道)—玄倉バス停 16:05

(記：太田)

佐藤リーダーのコメント

核心の長い淵を通過出来るか心配だった、中間のモチコシの滝まで来てから判断しようと考えていた、池本さん、太田さん共に、ここまで不安げなく遡行することが出来ている、水流も引いてきた気がする、サポートも貰えて、淵を泳いで通過出来た、本当に嬉しかったです。